

中村じゅんや 議員だより

連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> <https://www.jn-susono-web.com>



賃上げの波、物価高騰、トランプ関税、米騒動、地震予言、そして選挙

バブル崩壊後の景気低迷とデフレによって、企業の賃上げ交渉いわゆる春闘は、賃上げから雇用確保へとその交渉目的が移り、景気回復が見込めない泥沼状態が続いたことから、日本における給与水準は横ばいが20年以上続いてしまったと言われています。私の就職時期は底とされる時で、景気が良いとされる中で仕事した経験はほぼなく、「臨時ボーナス」や「封筒が立つ給与袋」なんて話だけ聞く想像の領域です。コロナ禍以降、冷え込んだ消費を回復させるための政策が集中し、設備投資などを推進する交付金が投入され、併せて国内消費喚起のための官製春闘と言われる政府主導の賃上げ交渉が行われ、近年大手企業では、人材確保も視野に思い切った賃上げが実施されました。良い波が出始めたと思った途端、様々な障壁が立ちちはだかっています。高くても買えない、売れると思ったのに高い関税、日本の主食が手に入らず、噂で減便まで出るインバウンド減少。。。。あって当たり前だと思っていた日本の強みに綻びが生じているように感じます。やはり、国の強みも維持する努力、育てる努力の継続が大切ということでしょう。誰かに任せておくだけではダメ。ちゃんと自分にできることは自分でやって、その輪を広げることが大切です。自分にできる選択の権利の一つ、選挙権。より良い社会を作るためしっかり選択して投票しましょう！

6月議会で注目が集まった議案を覗いてみましょう

①燃料(ガソリン/軽油/灯油)・タクシー券の配布事業

国の物価高騰対策交付金を活用して、全世帯に燃料引換券が配布されることになりました。3,000円分（500円券×6枚）ずつです。配布時期は10月頃。高止まりが続く車の燃料や暖房などの灯油の購入費に当ててもらうことが当初の狙いでした。議会に相談があった際、「免許証を返納したオール電化の家」では用途がなく公平性に欠けるという意見があり、移動費補助と捉え、公共交通費用にも充てられる仕組みが提案されました。最終的に市内タクシー会社の利用が可能に。日頃から地域課題について情報交換を積極的に行う事が大切です。



②スタートアップイベント事業

補正予算74万円。市内で起業したいという方を応援する目的でイベントを開催することです。これまでも似たような事業が行われていますが、事業支援体制として確立されたものがないのが残念に思えてなりません。勇気を出して起業し継続している方はいらっしゃいますが、その後に続くという流れがないのが裾野市。今回は、まず裾野市の様子を知っていただくための2日間のイベントを行い、実際の支援体制等について具体的な内容は、その後検討していくことになるようです。

行政としては過去行ってきた取り組みをしっかりと振り返り、他市町の成功事例と当市との相性を探り、がんばって勇気を振り絞った市民等を真にサポートできる体制を構築することが必要です。

③せせらぎ児童公園オープニング式典と排水工事

旧水泳場跡地に現れた公園。いよいよ7月30日にオープンします。子どもたちがすぐ脇の川や道路に飛び出してしまうことがないようにフェンスを設置。歩道も現在造成中です。芝の養生期間ということで草が伸び放題となっていますが、これから草を刈り、水が溜まりやすい場所に排水設備を整えて、利用が開始されます。

使いやすい場所となるように皆さんの感想をお寄せくださいませ。陽当たりが良すぎるかもしれませんので、木陰があると良い気もしますが、様子を見たいと思います。



④市民文化センター大ホール改修工事の契約締結

令和4年9月末の事故以降使用できない大ホールの改修工事の契約締結の議案が提出されました。工期は令和8年7月31日までで、渡辺建設(株)様が施工します。

特定天井落下防止ネット、舞台設備、消防設備等が改修されます。



使用開始の時期はまだ分かりませんが、周辺自治体の方からの「文化教育に疎すぎる」といった声を見返すことができるよう市民の文化活動を再度活性化させていけるようお力添えをお願いします。

今回の補正予算では、期待していた土木費に対する国の補助金内示率が想定より大分低く、駅周辺整備や平松深良線街路などの工事費用を大幅に見直さざるを得ない状態となりました。

その上で、R11年度完成予定の裾野駅西区画整備については期限を守る必要性から、財政調整基金から約1億円を切り崩してでも実施したいという提案がありました。補助金が活用できる事業はそれを活用し、一般財源を守るという姿勢の特例のような対応を取るということになります。

この点。財政非常事態宣言を解除した時に示したのは、財政調整基金を10億円下回らないという指標。

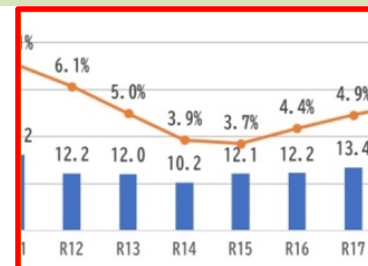
現在示されている見通しでは、令和14年に10億2千万円となるギリギリの計画でした。今回1億円を崩すということは、貯金が10億円を下回るということになります。計画を変更したのか？それとも何か別のお金が降って湧いたのか？その点について、総括質疑を実施しましたので、その回答をご紹介します。



今貯金を崩しても、財政状況を悪化させないというのはどういうこと？

①財政状況の、おさらい

前回(第43)号を一度ご覧いただきたいと思います。2度と財政非常事態に陥らないために、新しい基準を定めました。一つは全体経費における借金の比率。もう一つが貯金の残額(10億円)。右下のグラフは前回掲載したこの先15年の財政見通しです。貯金残高を示す棒グラフの最小値は、令和14年の10億2千万円。つまりこの年までは大きな他の投資はできない状態を示していることになります。



②1億円はどこから？

そもそもコロナ禍以降、日本中で一気に設備投資等が復活し、全国の自治体が補助金を申請するようになったため、1自治体の補助額が減っているようです。昨年もらえたから今年も、、、、という訳にはいかないということです。早く完成させたい裾野駅西区画整備などのために貯金を1億円取り崩すことにしましたが、財政計画に変更の必要はないのでしょうか？公開されている資料からは、読み取れない出所は確認するしか方法がないのです。



③出所は、昨年度の余剰金が見込める分

確認の結果、令和6年度決算余剰金の確定報告から、前年度繰越金に余力が出ることが分かり、財政見通しの変更なしに1億円程度であれば取り崩しても残額を維持できる見込みだということです。

今回は、質疑したので出所が分かりましたが、少なくとも令和14年までは、ちゃんと財源を示した上で事業提案するように、執行部に申し入れをしました。



④今後の判断指標

併せて、色々な要因で事業再編をすることになった場合、優先度や実施可否はどのように行うか、しっかりと基準を示すよう求めました。結果、6つのメルクマール(道標)が示されました(裾野市議会だよりに掲載)。あくまでも必要最低限の指標ではありますが、こういった判断材料が公開されることが大切で、市民からも見える市政運営につながるものだと思います。共に考える市政運営に向けて、これからも尽力します。

活動紹介



●矢崎組織内議員(島田市) 内田議員が誕生！

働く世代が力強く、世の中を牽引できるまちづくりに向け連携協力していきます！引き続き、皆さまの声を沢山お寄せいただきますようお願い申し上げます。



●会派視察(伊江村)

放映中の「木の上の軍隊」のロケ地 沖縄県伊江島。1945年終戦間際に米軍上陸により島全体が戦場となった地です。戦後80年、伊江島は修学合宿を事業として本土との交流を続けています。静岡県とも縁のある島、静岡空港活性化にもつながりそうな

企画に花を咲かせる視察でした。

●地区別懇談会(裾野市民)



●夏は帽子が必需品！



これが私の夏スタイルです。



ご意見、ご要望のほか、後援会入退会など、お気軽にご連絡くださいませ。